

令和2年 年頭所感

代表取締役社長
宗政 誠

あけましておめでとうございます。

皆様にとって、この一年が喜びの多い年になりますことをお祈り申し上げます。

昨年は新元号「令和」となり、新時代の幕開けとして記念すべき年となりました。一方で、9月、10月の大型台風と記録的な豪雨は記憶にも新しく、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当社市場におきましては、既存住宅の流通やリフォーム市場の拡大に向けた住宅政策は一層推進され、既存住宅の長寿命化に対する認知度は高まりつつありますが、消費者の節約志向は依然として根強く、当社サービスの需要拡大を抑制する要因となりました。

このような環境下、当社では4月に組織体制を営業、管理、コンプライアンスの三本部制に移行し、各部門の機能強化を図りました。また、新規エリアとなる兵庫県に阪神営業所を開設しました。販促活動については昨年も「シロアリバスターズ®」をメインとしたTVCMや、サッカーチームとのスポンサーシップ契約を活用した広告などにより、当社の認知度向上とシロアリ防除や地震対策の必要性を社会に訴求してきました。

本年は消費増税に伴う駆け込み需要の反動が残るものの、東京オリンピック・パラリンピックによるイベント効果が下支えとなり、景気は底堅い推移が見込まれています。当社の属する



シロアリ防除サービスの市場は開拓余地が大きく、さらに、住宅の長寿命化に向けた国の施策が当社事業拡大の追い風になるとみています。

当社は今年の5月に創業50年を迎えます。シロアリ防除を事業の主軸として50年間、地味な仕事ではあるけれど誰かがやらねばならない、社会に必要不可欠な仕事に従事してきました。当社を取り巻く環境は日々変わっていますが、そうした変化に対応していきながら、これからも日本の木造家屋をシロアリ被害から守るべく、営業エリアの拡大や技術力の向上を目指し取り組んでいきます。今後ともあたたかいご支援を賜りますよう、お願いいたします。